

# 美術史学専修 3年 前期 (2018年度)



## 教員免許と学芸員資格を取得した学生の時間割

### ※コメント※

地理歴史科の教員免許の取得のために西洋史の講義を受講したのですが、キリスト教の公会議の歴史をたどる内容で、西洋美術史を理解するためにも重要な内容だったため、受けてよかったと思いました。

### ※サークルやアルバイトについて※

水曜日の放課後と土曜日に塾講師のアルバイトをし、空きコマを利用して学内で研究補助のアルバイトを行いました。

	月	火	水	木	金
1		西洋史学 講義			
2	日本美術史講 義	西洋美術史 講義	日本美術史 演習		日本美術史 演習
3			西洋美術史 講義	日本美術史 演習	日本美術史 演習
4	日本美術史演 習			博物館学 (展示論)	
5	社会科・ 地理歴史科教 育法A			自然地理学 講義	
6					

# 美術史学専修 3年 後期 (2018年度)

専門分野の授業と資格取得に必要な授業を中心に、授業同士の間があかないように組みました。授業前や放課後にある程度まとまった時間をつくれたため、自習やアルバイトがしやすかったように思います。



## 教員免許と学芸員資格を取得した学生の時間割

	月	火	水	木	金	
1		人文地理学 講義	全      休			
2		西洋美術史 講義			日本美術史 演習	
3		日本美術史 講義			日本美術史 演習	日本美術史 演習
4	日本美術史 演習				国語機能論 講義	
5	博物館学 (資料保存論)				博物館学 (情報・メ ディア論)	
6						

# 日本文学・国語学 3年 後期 (2019年度)

3年生では、まだ履修していなかった2つの教職科目を履修しました。(両授業とも模擬授業あり。) 3年生だったこともあり、教育実習を視野に入れた、充実した受講が出来たと思います。一方で、他の授業でも忙しい1年生、2年生にとって、模擬授業はやはり少し厳しそうに見受けられました。模擬授業が課される教職科目は、教職以外の授業の履修がほとんど終わり余裕の出してきた頃に受講するのが効果的だと思います。

また、教職の授業は1年生、2年生の間に履修し終わる人がほとんどでした。教職科目を履修すると、時間割のボリュームはどうしても増えてしまいます。僕の場合、1～6限まで授業という日程を強行したことがあります。これはかなりきつかったのでオススメ出来ません。「月曜日と水曜日は遅くなくても大丈夫だから、教職科目を頑張ろう」、「金曜日は言語の授業が大変だから、そこを頑張ろう」などというように、自分の生活リズムや他の授業とのバランスを考慮して履修するのが一番です。



## 教職免許 (国語) 取得予定の学生の時間割

	月	火	水	木	金
1					教職科目 (国語科 教育法Ⅳ)
2	学部講義 (専修)			学部講義 (他専修)	
3	学部講義 (他専修)	学部講義 (専修)			
4	学部講義 (他専修)	学部講義 (他専修)		学部講義 (他専修)	
5		学部演習 (専修)	学部講義 (他専修)		
6		教職科目 (教育方法 学)			

## 考古学 3年 (2018年度)

### ※コメント※

専修（考古学）の授業のほかにも、教員免許・学芸員資格を取得するために必要な授業を履修したため、少し授業数が多くなりました。火曜・木曜は空きコマに専修の実習があり、水曜日も授業が多く忙しかったので、月曜・金曜のコマ数をなるべく少なくしてバランスをとっていました。空きコマは研究室に通い、自分の研究を進めていました。また、部活引退後に留学を予定だったので、図書館やカフェで英語の勉強もしていました！

### ※サークルやアルバイトについて※

この時、体育会系の部活動でキャプテンを務めていたので、朝や5限以降は基本的に部活の練習をしていました。オフ日に教職の授業やバイトを入れ、部活の練習後は留学に向け英語の勉強をしていました。部活・研究・教職・学芸員資格・留学準備と忙しい日々でしたが、大学生の時にしかできないことをたくさん挑戦したいと考えていたので、毎日充実していました！

### 教員免許と学芸員資格を取得予定の学生の時間割

	月	火	水	木	金
1		西洋史学 講義	比較考古学 演習		
2					社会学 入門
3	考古学 講義		考古資料論 講義		
4		政治学の 基礎		博物館学 (展示論)	
5			考古資料論 演習	自然地理学 講義	
6		教職論		教育方法学	

# 3年 / (2019年度) 日本史学

## ※コメント※

◆月・金の18時からサークルがあったので、月・金は5限、6限の講義を受けてからサークルに参加できるようにしていた。

◆教職課程は1年生のころから履修していたものの、2年生の後期と3年生の前期は教員ではない別の進路を考えていたので、教職科目を履修していなかった。3年生の後期になって大学院への進学を目指すようになり、教職資格と学芸員資格の両方を取得したいと考えてこの時間割を組んだ。

◆国語学講義や中国文学講義は、国語の教員免許取得のために受講したもの。文学部は自分の専修以外の分野についても自由に履修できるので、自分の興味に従って楽しみながら時間割を組んでいた。

## ※サークルやアルバイトについて※

サークル：広告研究会     アルバイト：家庭教師

試験やレポート提出の日が多い学期末には、サークルやアルバイトの予定を入れないうようにしていた。

## 教員免許と学芸員資格を取得予定の学生の時間割

	月	火	水	木	金
1				全      休	
2	国語学 講義	歴史地理学 講義			日本史学 演習
3	中国文学 講義	文献情報書誌 学講義			日本史学 演習
4	日本文化史学 講義	国語学 講義	日本史学 講義		日本史学 演習
5	教職論	博物館学 (生涯学習)	日本史学 演習		道德教育論
6	教育社会・ 制度学				

# 日本史学 3年 (2019年度)




## 教員免許取得予定の学生の時間割

### 【前期】

	月	火	水	木	金
1	全     休				
2				日本史学 演習	
3			日本史学 演習	歴史学方法論 講義	日本史学 講義
4			中国哲学 講義		日本史学 演習
5		西洋史学 リサーチ演習	日本史学 演習		

### 【後期】

	月	火	水	木	金
1		人文地理学 講義	日本史学 演習		
2		中国文学 講義	東洋史学 講義	国語学 講義	
3	地誌学 講義	文献情報 書誌学講義			日本史学 演習
4	日本文化史 講義	国語学 講義			日本史学 演習
5			日本史学 演習	社会科・ 公民科 教育法Ⅱ	実践教育論Ⅱ

専修の必修を中心に、自分の興味関心に従って授業をとりました。また教職に必要な科目を中心に選びました。一個一個が重かったので個人的なバランスはとれていたと思います。後期の水曜・木曜も、開きコマは研究室で勉強したりなどをしていました。

# 美術史学専修 4年 前期 (2019年度)

教育実習があるので忙しいだろうと思い、あまり授業を入れませんでした。すでに卒業や資格のために必要な分の単位を取得できていたことも理由の一つです。



## 教員免許と学芸員資格を取得した学生の時間割

	月	火	水	木	金
1					
2		全	日本美術史 演習	全	日本美術史 演習
3	人文学と 情報講義				日本美術史 演習
4	日本美術史 講義	休	日本美術史 講義	休	
5					
6					

## 美術史学専修 4年 後期 (2019年度)

### ※コメント※

卒業論文の研究のための時間をとれるように、最低限の授業だけで組みました。全休の日を多く作ったことで、「教育実践演習」という、教員免許取得のための最後の実習を行う際にも予定を合わせやすく、よかったです。

### ※サークルやアルバイトについて※

学内でのアルバイトのみ無理のない範囲で行っていましたが、卒論提出の一个月前あたりからお休みをもらって卒論に専念しました。



### 教員免許と学芸員資格を取得した学生の時間割

	月	火	水	木	金
1					
2			東洋美術史 演習		日本美術史 演習
3	日本美術史 講義	全		全	日本美術史 演習
4		休	東洋美術史 講義	休	
5					
6					